

第14回

ベストエコドライブ・コンテスト筆記試験問題

〈一般常識〉

解答用紙の解答欄に、正しいものには「○」、誤っているもの、定めのないもの、適切でないもの及び違反しているものには「×」を記入してください。

- 問1 車両総重量8トン以上または最大積載量5トン以上のトラックに乗務した場合、荷主の都合により、荷待ち等で15分以上待機したときは乗務記録に記録しなければならない。
- 問2 平成29年3月12日から施行された新しい免許制度で新設された準中型免許を取得すれば、最大積載量4.5トン未満、車両総重量8.5トン未満の車両を運転することができる。
- 問3 営業所に備えられているアルコール検知器が故障して使用できない場合は、点呼執行者の目視による酒気帯びの有無の確認を受ければ乗務することができる。
- 問4 常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)結果は、検査を実施した医師、保健師等から直接本人に通知され、本人の同意なく事業者には提供することは禁止されている。
- 問5 事業者には健康診断を実施する義務があるが、それを受けるかどうかは労働者の自由である。
- 問6 エコドライブとは、駐車中にエンジンを停止するアイドリングストップや急発進・急加速を避けた等速運転などを励行することをいい、エコドライブは環境保全のために必要なだけでなく、運行経費の削減や交通事故の防止など様々な効果をもたらすものである。
- 問7 睡眠時無呼吸症候群になると、睡眠時の呼吸停止と再開が繰り返されるために血圧が低下し、血液も固まりやすくなることから、高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、脳卒中など重大な合併症を引き起こすリスクが高まる。
- 問8 運転者は、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を貨物自動車運送事業者に出なければならない。

問 9 1時間のアイドリングで、無駄になる燃料は大型車で1.0リットル～1.5リットルと言われ、中型車で0.7リットル～0.8リットルになると言われている。

問 10



「安全性優良事業所」認定の対象となるのは事業所単位である。

<運 転 常 識>

問 11 右左折するとき、右左折する3秒前に合図をしなければならない。

問 12 高速道路を通行する際、強風時は、特にトンネルや切通しの出口では横風にハンドルをとられやすいので注意する。

問 13 横断歩道及びその手前30メートル以内は、追い越し禁止場所である。

問 14 右折するとき、先に交差点に入っていれば、左折する車があっても自車の方が先に右折できる。

問 15



この標識は、環状の交差点において、車両が右回り（時計回り）に通行すべきことを指定する標識ですが、合図の方法は、環状交差点から出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したときに、左側の方向指示器を操作し、交差点を出るまで合図を継続すること。

問 16 徐行とは、時速20キロ以下の速度で進行することをいう。

問 17 タイヤの空気圧不足で高速走行したとき、タイヤの接地部に波打ち現象が生じセパレーションやコード切れ等発生する現象をハイドロプレーニング現象という。

問 18 バス・路面電車の停留所の表示柱から10メートル以内は、駐車も停車も禁止されている場所である。

問 19 夜間走行中、自分の車と対向車のライトで、道路の中央付近の歩行者が見えなくなることを蒸発現象という。

問 20 飲酒をしても、身体に保有するアルコール量が呼気1リットルにつき、0.15ミリグラム未満であれば、運転しても差し支えない。

<車 両 常 識>

- 問 2 1 車両総重量 8 トン以上の大型自動車は、スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷、スペアタイヤの取付状態、ツールボックスの取付部の緩み及び損傷について、3 ヶ月ごとに点検を行わなければならない。
- 問 2 2 スローイン・ファストアウト走行とは、カーブの手前の直線部分で速度を落とし、ゆっくりとカーブを回り終わる少し手前から徐々に加速する走り方をいう。
- 問 2 3 車両安定性制御装置とは、走行中の自動車の急なハンドル操作や滑りやすい路面の走行などを原因とした横滑りの状況に応じて、エンジン出力やブレーキ力を制御し、横滑りや転覆を防止するための装置のことをいう。
- 問 2 4 荷台に貨物をのせ、急ブレーキをかけると、重量が増すごとに制動距離が短くなる。
- 問 2 5 遠心力の大きさは、カーブの半径が小さいほど大きくなり、速度の 2 乗に比例する。従って、速度が 2 倍になれば遠心力は 4 倍となる。
- 問 2 6 エンジンオイルは粘度が高いほど燃費が良くなり、粘度が低いほど燃費は悪くなる。
- 問 2 7 運転者が危険な状態を認めてからブレーキをかけ、ブレーキが効き始めるまでには、1 秒くらいかかると言われ、これを反応時間という。
- 問 2 8 日常点検を実施するときは、平坦な場所で、エンジンなどが冷えた状態で行う。
- 問 2 9 速度抑制装置(スピードリミッター)の解除・取り外しは不正改造となる。
- 問 3 0 貨物自動車に積載する貨物は、車体の左右のそれぞれ 1.1 倍まで、はみ出して積載することができる。